

# 腸肝循環する薬物

薬物や生体内物質が十二指腸に胆汁排泄された後、腸管から再吸収され肝臓に戻る循環のことを腸肝循環といいます。肝臓で代謝され生成されたグルクロン酸抱合体は一般的に胆汁排泄されやすいのですが、極性が高いため小腸から吸収されにくいですが、しかし腸内細菌の持つβグルクロニダーゼによって加水分解をうけ親化合物にもどると脂溶性が増し、吸収されやすくなります。このように薬物が腸肝循環するとβ相における消失が遅延しトラフ値が上昇します。トラフ値が高くなると蓄積する可能性があり、コルヒチンなどのハイリスク薬では要注意かもしれません。抗菌薬投与によって腸内細菌叢が乱れると薬効の持続性に影響することがあります。

分類	薬物名
向精神薬	クロルプロマジン
抗てんかん薬	バルプロ酸、フェニトイン
麻薬	モルヒネ
NSAIDs	インドメタシン、エトドラク、ジクロフェナック、メフェナム酸、メロキシカム、ナブメトン
鎮痛下熱薬	アセトアミノフェン
抗めまい薬	ジフェニドール
抗リウマチ薬	レフルノミド
痛風発作予防薬	コルヒチン
てんかん治療薬	ゾニサミド
強心配糖体	ジゴキシン、ジギトキシン
αβ遮断薬	カルベジロール
アンジオテンシン受容体拮抗薬	テルミサルタン
α遮断薬	シロドシン
抗アルドステロン薬	スピロラクトン
抗凝固薬	ワルファリン
HMG-coA還元酵素阻害薬	プラバスタチン
コレステロール吸収阻害薬	エゼチミブ
利胆薬	ウルソデオキシコール酸
抗コリン薬	臭化水素ブチルスコポラミン
女性ホルモン	エストロゲン、プロゲステロン
乳がん治療薬	タモキシフェン
ビタミン	ビタミンD3、ビタミンB12、葉酸、ビタミンB6
抗菌薬	スパルフロキサシン
抗菌薬	クロラムフェニコール
マクロライド系抗菌薬	エリスロマイシン
抗結核薬	リファンピシン
分子標的薬	ソラフェニブ
抗悪性腫瘍薬	ドキソルビシン、イリノテカン
免疫抑制薬	ミコフェノール酸モフェチル
ED治療薬	バルデナフィル

無断転載を禁じます(熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・平田純生 2014年12月作成)